

『伊勢物語』筒井筒（教科書p172～175）

一 『伊勢物語』のように、和歌を中心に構成されている物語を何とか答えなさい。【知・技】

二次の語句の本文における読みを現代仮名遣いで答えなさい。【知・技】

1 本意 () () () () () 2 悪し () () () () () 3 前栽 () () () () ()

4 夜半 () () () () () 5 気色 () () () () ()

三 次の1～4について、本文での意味を書きなさい。（教科書の巻末（p264～267）か古語辞典で調べ、最も適切と思われる意味を書くこと。）【知・技】

1 あふ (p172・6) 〓

2 いふかひなし (p173・3) 〓

3 ながむ (p174・1) 〓

4 かなし (p174・3) 〓

これは「言語文化」のレポートのサンプルです。

四 「筒井筒井筒にかけしまろがたけ過ぎにけらしな妹見ざるまに」の和歌（一七二・10）全体を現代語訳しなさい。【思・判・表】

五 「つひに本意のごとくあひにけり」（一七三・1）の現代語訳として適当なものを次の中から選び、符号を○で囲みなさい。【思・判・表】

- ア やっと、ずっと好意を抱いていた人とめぐり会えた。
- イ やっと、待ち望んでいたよい機会にめぐり会えた。
- ウ やっと、本来の目的を達成できた。
- エ やっと、本来の願いどおり、好きな人同士で結婚できた。

六 「もろともにいふかひなくてあらむやは」（一七三・3）について、答えなさい。

- 1 この部分は、誰が思ったものか。次の中から一つ選び、符号を○で囲みなさい。【思・判・表】
 - ア このもとの女
 - イ 男
 - ウ 作者
 - エ 親
- 2 ここに用いられている表現技巧は何か。次の中から一つ選び、符号を○で囲みなさい。【知・技】
 - ア 疑問
 - イ 反語
 - ウ 倒置
 - エ 体言止め

評価欄		
主体的	思・判・表	知識・技能

四 教科書の脚注を参考に書きましょう。

五 「あふ」の意味がポイントです。

六 教科書173ページ 脚注7をよく読んで答えましょう。

七 「風吹けば沖つ白波たつた山夜半にや君がひとり越ゆらむ」の歌（一七四・二）について、

1 掛詞の部分を二字で抜き出しなさい。【知・技】

2 掛詞では、何と何とが掛けられているか。漢字を含めて答えなさい。【思・判・表】

() () と () () とが掛けられている。

八 「限りなくかなしと思ひて」（一七四・三）とあるが、なぜ「かなし」と思ったのか、説明しなさい。【思・判・表】

九 男が「心憂」く思った（一七四・七）のは、高安の郡に住む女のどのような行動を見たからか。その部分を本文中から二十字（句読点を含む）で抜き出しなさい。【思・判・表】

十 「君があたり見つつを居らむ生駒山雲な隠しそ雨は降るとも」の歌（一七四・一〇）について、「なくそ」の部分の訳し方に注意して、和歌全体を現代語訳しなさい。【思・判・表】

十一 「男、住まずなりにけり」（一七五・三）とあるが、誰の家に通って行かなくなってしまったのか。次の中から一つ選び、符号を○で囲みなさい。【思・判・表】

- ア このもの女
- イ 高安の郡に住む女
- ウ 男

十二 この作品を読んで、現代とは違う点を一つ挙げ、その違いについて考えたことを書きましよう。【主体的】

○現代とは違う点…

○考えたこと…

《予習コーナー》【主体的】

レポートNo.⑤《漢文2》「漢詩」「論語」（教科書p二二八～二四一）

①教科書二二八～二三〇を学習書を参考にしながら、声に出して何度も読みましよう。特にレポートで扱う二編はよく読みましよう。

※「黄鶴楼送孟浩然之広陵」 () () 回読みました。

②「黄鶴楼送孟浩然之広陵」と「春望」のうち、印象に残った詩と、その理由・感想を書きましよう。

※ 詩の題名 「 」 「 」

※ 理由・感想 「 」 「 」

七 掛詞とは、
かけことば
一つの語に二つ以上の意味を掛け合わせる技巧。

九 高安の郡に住む女は、油断してこのような行動をとりました。現代ではごく普通の行動でも、当時の貴族にとっては禁忌だったのです。

【学習内容についての感想・質問等】（自由記述）

【先生からのメッセージ】